

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築		
市町村名	伊那市	ふりがな 箇所名	いしきわんどちかたきせん (一)沢渡高遠線			かいぎほ 員沼	事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度～	H28年度
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路拡幅工 L=250m W=6.0(9.75)m					H23年度末事業進捗率	0%	
	H24年度以降残実施内容	同上					本工事費等ベース	0%	
	H24年度実施内容	測量設計一式					用地補償費ベース	0%	
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残			
財源内訳	事業費計(千円)	250,000	0	0	5,000	250,000			
	国庫支出金	0	0	0	0	0			
	その他								
	県債	225,000	0	0	4,500	225,000			
一般財源	25,000	0	0	500	25,000				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点	
	(30)	必要性 (道路網)	計画交通量	4,000台/日以上	1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満	A	2	
			代替道路	唯一の道路である	代替となる道路がある			0	
			ネットワーク	バス路線である	B 駅やICなどに通じるまたは 役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	A及びBに該当しない		5	
			ボトルネック箇所	ボトルネック箇所	ボトルネック箇所でない	4			
		観光地に通じる道路	観光地に通じる道路ではない	2					
		各事業特有の必要性(安全の確保)	4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	4.0m以上5.5m未満(幅員)	5.5m以上(幅員)	4			
			自動車と自転車・歩行者との分離を図る	歩道はあるが不十分であるものを再整備	自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない	4			
		他事業との関連	河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施	10					
	小計				30				
	(10)	重要性	設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ確実性が高い	環境・景観配慮がされているが確実性が低い	環境・景観配慮をしていない	C	0	
			地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている	緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている	特別な位置づけはない		3	
		小計				3			
	(20)	効率性	費用対効果	B/C(3便益)1.0以上	B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が見られる)	B/C(3便益)1.0未満	B	5	
			事業効果の早期発現(H24以降残事業年数)	事業年数 3年以内	事業年数 4年～5年以内	事業年数 6年以上		5	
		コスト削減	全体的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。	部分的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。	コスト削減はしていない	0			
		小計				10			
	(20)	緊急性	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	交通事故や落石等の危険がない	A	6	
			各事業特有の緊急性(医療・福祉)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	医療・福祉の連携に関係ない道路		10	
		小計				16			
(20)	計画	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い	市町村からの要望	特に要望がない	A	7		
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者中心に周知	特に周知していない		5		
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	特に住民意見は反映していない	4				
	小計				16				
費用対効果(B/C)		1.1			評価の合計		A	75	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	伊那市街地と高遠町を結ぶ当路線は、観光期には伊那市街地から高遠城址公園までの観光客で渋滞する路線である。また、数少ない東西方向の路線のため、大型の通過交通量が多い。当区間においては、人家が連担して狭隘な上、歩道がないため、交通の安全に支障がでている。							
	地域からの要望経緯	H22.12富県道路整備促進協議会から要望が出されている。							
	事業説明等の経緯	富県道路整備促進協議会及び地元役員と打合せを行い、関係者で対策委員会を組織して、地元でのルート案の意見をまとめてもらっている。							
	環境・景観への配慮項目	特になし。							
	他事業・プロジェクトとの関連	上伊那広域連合による可燃ゴミ中間処理施設(H29稼働予定)							
特記事項	伊那市及び地元検討委員会と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他				
部意見	上伊那広域連合による可燃ゴミ中間処理施設の稼働が平成29年度に予定され、交通量の増加が見込まれていることから、現道の交通安全対策として事業着手したい。			政策評価課	意見 必要性、緊急性が認められる。				